

# 「令和2年度に実施した仕事」の振返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 3 年 4 月 9 日

事業名稱		高齢者慶祝事業費 [敬老金支給事業]							
予算科目	款 3 民生費 項 1 社会福祉費 目 3 老人福祉費	事業番号	5						
事業の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 市単独 <input type="checkbox"/> 補助対象 <input type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)								
担当部署・課長名	高齢介護 課 高齢福祉 係	課長名	伊野宮 崇						
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。					施策番号	2 - 2			
【施策名】高齢者保健福祉の推進					総合計画書 (ページ)	51			
この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 9月15日現在で88歳の市民			① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) 65歳以上の市民(毎年9月1日付の数値で計測)					
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 敬老の意を表されることで、生活意欲の向上と生きがいの増進に繋がっている			② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) 支給者数					
	③ そのために何をしましたか。 9月15日現在で88歳の市民に対して、5,000円を支給した。例年民生委員が個別に訪問し、直接渡しているが、令和2年度に関しては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から現金書留による支給方法に変更した。			③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) 9月15日現在で88歳の市民					
指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標		
	対象指標	①の数値		人	平成30年度実績 22,754		平成31年度実績 22,963	令和2年度実績 23,163	令和3年度目標
	成果指標	②の数値	人	350.0	342.0	418.0			
	目標	③の目標値	人	目標値設定の考え方 年度ごとに対象者が決まっているので、目標を設定するにはなじまない。					
経費	活動指標	③の数値	人	88歳 336 99歳 14	88歳 324 99歳 18	88歳 418			
	事業費(実績)			円	1,750,000	1,710,000	2,339,219	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,380,000円 時間単価は、4,300円 で計算してください。 【算出根拠】平成31年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)	
	一般財源			円	1,750,000	1,710,000	2,339,219		
	特定財源(国・都・他)			円					
	(うち受益者負担)			円					
	所要人数(再任用以外)			人	0.05	0.05	0.05		
	所要人数(再任用)			人					
	職員人件費(再任用以外)			円	412,200	415,500	419,000		
職員人件費(再任用)			円						
事業費+人件費			円	2,162,200	2,125,500	2,758,219			
環境変化等	(1) 開始年度		昭和53 年度						
	(2) 環境の変化		東京都の敬老金支給が75歳以上を対象としていたのに対し、当市(当時は「大和町」)は70歳以上を対象としていた。昭和51年度からは9月15日と12月15日の2回支給していたが、平成12年度からは9月15日の1回のみの支給に変更された。その後、平成13年度から平成27年度までは(77歳、88歳、99歳)の節目の支給となっている。高齢者数の増加に伴い、平成28年度からは、支給対象者が88歳と99歳に見直された。また、令和2年度からは88歳のみが支給対象に変更された。近年は高齢化の進展に伴い単身高齢者や高齢者のみ世帯が急増し、問題の早期発見や孤独死・孤立死を防止するため、実態把握も兼ねている。						

事業名称	高齢者慶祝事業費【敬老金支給事業】			
担当部署・課長名	高齢介護課	課	高齢福祉 係	課長名 伊野宮 崇

5 市民等の意見	この仕事に関して、令和2年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について 特になし							
6 市民協働	<p>(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">□ 取り組んだ</td> <td>取組手法：</td> </tr> <tr> <td>☑ 取り組まない</td> <td>【取組手法の種類】            ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成            ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）</td> </tr> </table> <p>(2)令和3年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点 特になし</p>				□ 取り組んだ	取組手法：	☑ 取り組まない	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）
□ 取り組んだ	取組手法：							
☑ 取り組まない	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）							
7 課題	<p>(1)令和2年度に課題とした内容（「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題（3）を転記） 慶祝事業については、公費を支出することに議論がある。</p> <p>(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和2年度に実施したこと。 事業の継続について、課内で検討を行い、東大和市行政改革推進本部会議に諮った。</p> <p>(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案） 引き続き事業内容の見直しを行う</p>							
8 施策貢献状況	(この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。)							
	<p>施策名：高齢者保健福祉の推進</p> <p><input type="checkbox"/>なっている <input checked="" type="checkbox"/>環境の変化等により成果が減少している <input type="checkbox"/>類似の事業が他にあり改善の余地がある 事業名（ ）</p>							
9 今後の方向性	<p>(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など）</p> <p><input type="checkbox"/>拡大 <input checked="" type="checkbox"/>現状維持 <input type="checkbox"/>縮小 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>廃止</p> <p>【取組内容】 今後も引き続き事業の見直しを検討する必要がある。</p> <p>(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 条例改正のための調整及び準備が必要である。</p>							